

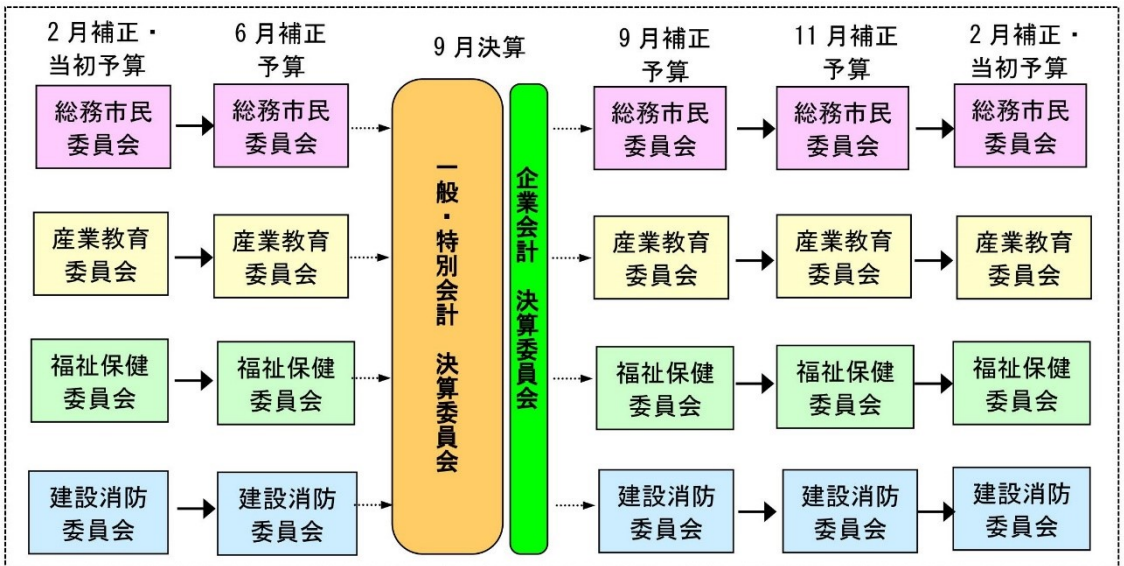
私は、議長就任の公約とした「強い議会」を創っていくためには、予算、決算、条例など、様々な議案を専門的、集中的に審査する常任委員会の活性化が特に重要だと考えています。

議員全員で議論を重ね、常任委員会について以下のような「横串」、「縦串」を通す2つの改革を行ってきました。

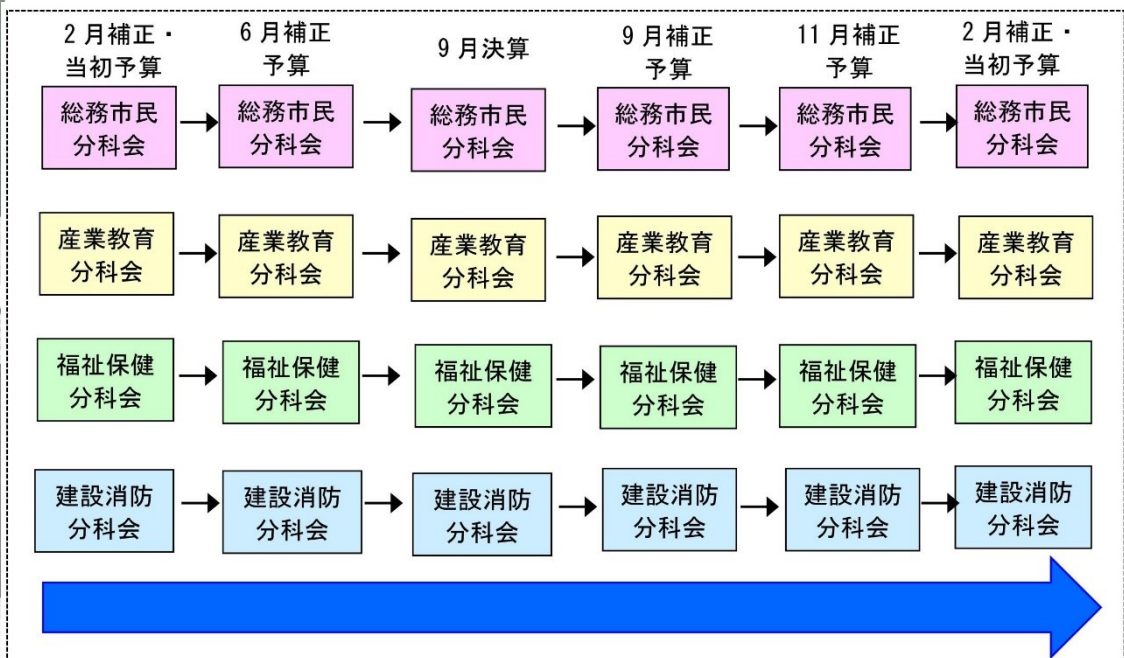
1 横串…年間を通じて、予算→決算→予算を分野ごとに同じ委員会（分科会）で審査する

- これまでは、予算審査は分野別に分かれた4つの常任委員会で、9月の決算審査は会計別に分かれた2つの決算委員会で審査してきました。
- 決算審査は、議員全員が2つの決算委員会に分かれ審査していましたが、特に一般・特別会計については幅が広く、全てをきめ細やかに審査できているか？ 予算と連動する審査ができているか？ 等の点で懸念がありました。
- 6年度からは予算→決算→予算を、横串を通す形で分野ごとに同じ委員会（分科会）で審査することにより、これまで以上にきめ細かく継続性のある審査を行っていくこととしました。

■委員会を別にした予算・決算審査から、同じ委員会による審査へ

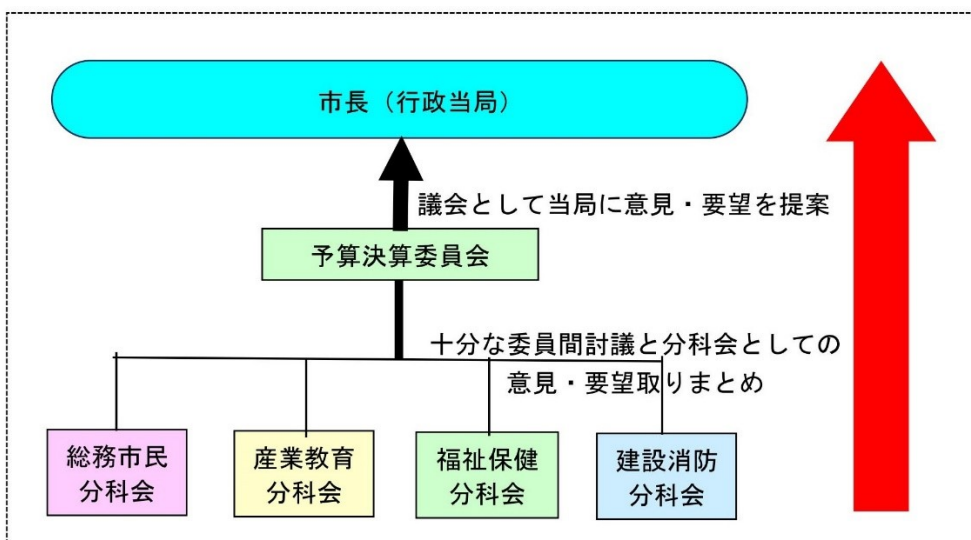
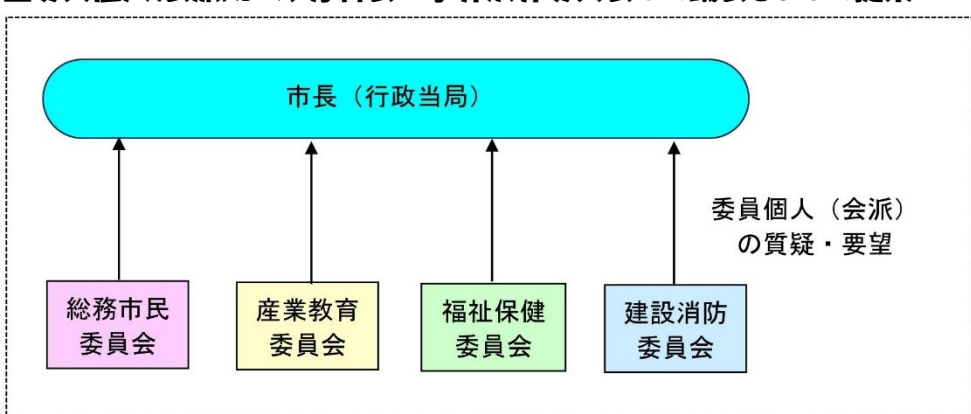


■6年度の4つの常任委員会(分科会)とメンバー



2 縦串…予算決算委員会を設け、委員間討議を経て議会としての意見・要望を整理し提案する

■委員個人(会派)から、分科会→予算決算委員会での議会としての提案へ



- これまでは、予算審査において分野ごとの事業等について、議員一人ひとりが質疑を通じて、当局に議員個人（会派）の考えを意見・要望として伝えてきました。
- しかしそれは議員個人（会派）の考え・要望であり、当局に対してどこまで伝わったかは疑問でした。
- 6年度からは、それぞれの委員会（分科会）の中で重要と思われる質疑について、委員会メンバー全員で委員間討議（議論）を行った上で、委員会（分科会）として必要な意見・要望をまとめます。
- さらに議員全員が所属する予算決算委員会で賛同を得た意見・要望については、予算決算委員長が議会を代表して当局に「予算決算委員長報告」の中で提案する、つまり分野別分科会→予算決算委員会という縦串を通すことで、議会としての意見・要望を提案していくこととしました。

■6年度、私が所属する産業教育委員会(分科会)



■議員全員が所属する予算決算委員会